

滋賀から始める

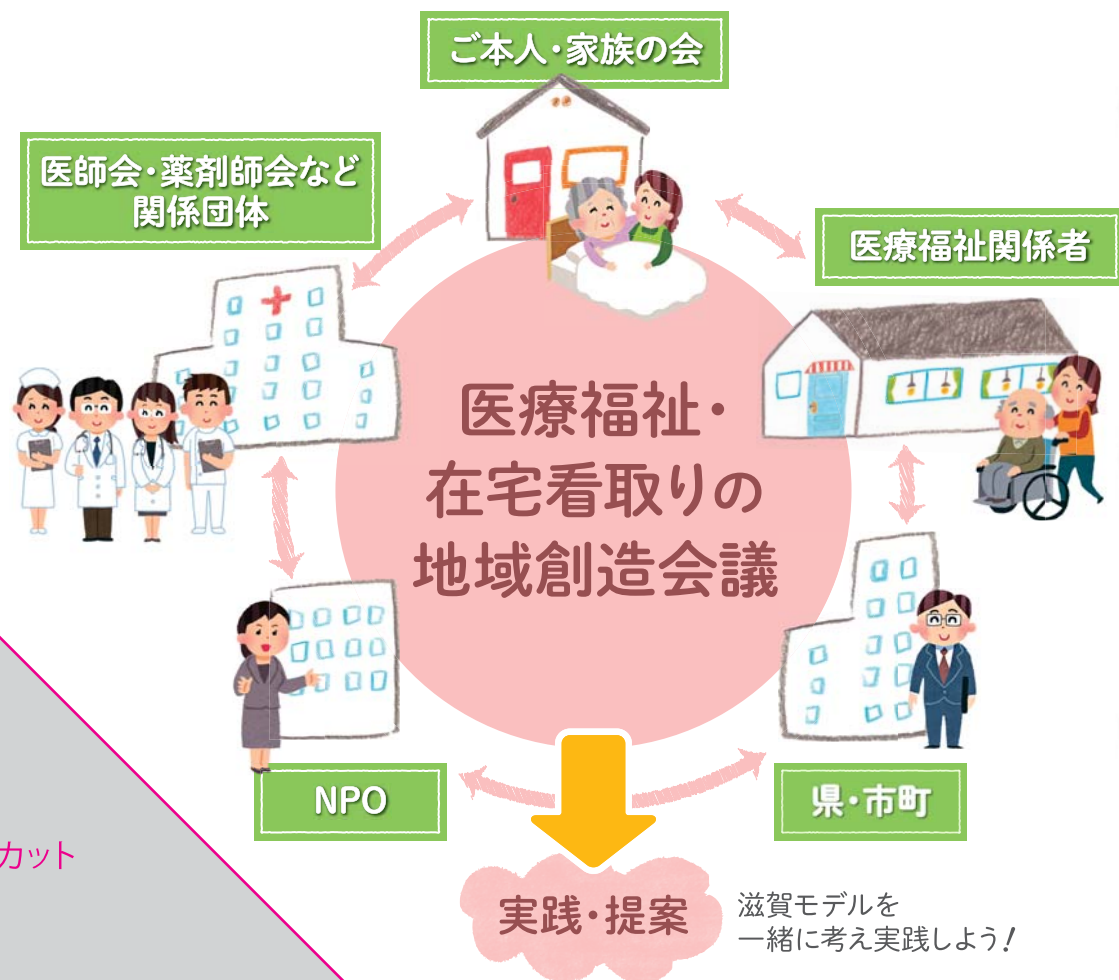
# 医療福祉・在宅看取り



- 1 県内各地で誰もが住み慣れた地域で最期まで安心して暮らせるよう**地域包括ケア\***のしくみづくりを推進します。
- 2 医療福祉の専門職、NPO・県・市町の行政等の関係者がお互いに連携・協働できる「**顔の見える関係**」づくりをすすめます。
- 3 県内各地域における医療福祉に関わる様々な「**懇話会(協議会)**」等との**連携・協力**をしていきます。
- 4 **医療福祉『滋賀モデル』**の実現に向けた自主的な取り組み**目標の設定と実践**をすすめていきます。

※ **地域包括ケアとは...**

医療・介護・福祉サービスを含めた生活支援サービスが適切に提供できる地域の体制です。  
おおむね30分以内にかけてつけられる中学校区を一つの単位とされています。



月1回

## ワーキンググループ会議

18:30~20:00  
滋賀県庁・草津その他県内各地

医療福祉関係者だけでなく、  
学生・宗教家・家族の会の人たち  
が集まり、活動紹介や意見  
交換・提案などを行っています。



年1回  
(11月)

## 県民フォーラム

「滋賀の医療福祉を守り育てる  
月間」にあわせて開催。  
講演や劇などを通して県民の  
皆様に在宅医療を広く知って  
いただくフォーラムです。



年1回

## 総会

会員の研修を目的に開催。  
厚生労働省職員による講演や  
シンポジウム・グループワーク  
などを通して在宅医療・看取り  
について学びあい・意見交換を  
しています。



カット

## 2025年に向けての対応

「団塊の世代」の人々が75歳以上（後期高齢者）となり、15歳～64歳の人口も減少するため、約5人に1人が75歳以上となります。

さらに、75歳からは要介護（要支援）になる可能性が高まり、医療・介護・福祉サービスの需要が増えることから、その対応について早急に考える必要があります。



## 必要な「地域包括ケアシステム」

医療・介護・福祉サービスを含めた生活支援サービスが適切に提供できる、地域の体制が必要になってきます。

医療・介護サービスの関係者や住民等の民間の主導により、市町・県の行政関係者も参画し、お互いに「顔の見える」関係をつくりながら、地域包括ケアシステムの構築を目指しましょう！



## 滋賀モデルの実現に向けて！

地域の支え合いの中で高齢者や障害者など社会的に支援を必要とする人々を包み込む「滋賀モデル」をみんなで推進しましょう！

Are you ready?

一緒に考えていきましょう



みとりちゃん HIROMILW  
医療福祉・在宅看取り啓発キャラクター

誰もが地域で  
自分らしく暮らし続け  
老いを迎え  
平穏に死を迎えられる  
社会をめざして



ぜひ  
ご参加を！

## 医療福祉・在宅看取りの 地域創造会議

個人会員（年会費1,000円） 361人（2019.3現在）

医師・歯科医師・薬剤師・栄養士・保健師・看護師・リハ職  
介護職・家族の会・宗教家・学生・行政職員 ほか

賛助団体 89団体（2019.3現在）

滋賀県医師会・滋賀県歯科医師会・滋賀県薬剤師会  
滋賀県看護協会・滋賀県病院協会・滋賀県社会福祉協議会  
滋賀県・県内9市町 ほか

入会のお申し込み・お問い合わせ

☎ 077-528-3529 FAX 077-528-4851

✉ info@chiikisouzoukaigi-shiga.jp

🌐 mitori.siga.jp みまもりみとり 🔍

〒520-8577 滋賀県大津市京町4丁目1番1号 滋賀県庁医療福祉推進課内

## 医療福祉・ 在宅看取りの 地域創造会議

2025年に向けて

よりどり看取りの滋賀をめざして

会員  
募集中!!

カット